

富山県朝日町

# 議会だより



第92号

平成29年2月1日



1 / 7 (土) 雪の朝日岳と北陸新幹線

## 第6回議会定例会

■ 28年度補正予算など	2～3
■ 代表質問 3名	4～8
■ 一般質問 5名	9～13
■ 常任委員長報告	14
■ 議会活動報告	15
■ 議会日誌 10月～12月	16

《発行編集》

富山県朝日町議会だより編集委員会

〒939-0793

富山県下新川郡朝日町道下1133

☎0765-83-1100(代)

## 28年度補正予算の主なもの

1万円未満切捨て

<b>一般会計（補正第6号）</b>		<b>補正総額</b>	<b>596万円</b>
都市計画管理費			596万円
<b>一般会計（補正第7号）</b>		<b>補正総額</b>	<b>477万円</b>
災害復旧事業（農地）			477万円
<b>一般会計（補正第8号）</b>		<b>補正総額</b>	<b>6,333万円</b>
移住交流体験施設管理運営費			41万円
自治振興費			126万円
臨時福祉給付金給付事業			4,018万円
農地振興費			74万円
林業振興費			131万円
緑化推進費			134万円
水産振興費			172万円
漁港建設事業			1,200万円
<b>特別会計</b>			
国民健康保険特別会計（第3号）			4,051万円
後期高齢者医療事業特別会計（第1号）			2,000万円
簡易水道特別会計（第2号）			1,739万円
下水道特別会計（第1号）			717万円

## 第6回定例会

**補正予算7,406万円を追加  
看護学生修学資金貸与条例一部  
改正など15議案を可決・承認・同意**

平成28年第6回議会定例会は、12月5日から20日までの16日間にわたり開催され、28年度補正予算、条例改正案、人事案件など15件が提案され、原案のとおり可決・承認・同意しました。

## 第6回定例会審議結果

※議決日は12月20日（議案第66号は12月5日）

議案番号など	件名	審議結果
議案第66号	草野地内工業団地造成工事請負契約締結に関する件	原案可決
議案第67号	平成28年度朝日町一般会計補正予算（第8号）	原案可決
議案第68号	平成28年度朝日町国民健康保険特別会計補正予算（第3号）	原案可決
議案第69号	平成28年度朝日町後期高齢者医療事業特別会計補正予算（第1号）	原案可決
議案第70号	平成28年度朝日町簡易水道特別会計補正予算（第2号）	原案可決
議案第71号	平成28年度朝日町下水道特別会計補正予算（第1号）	原案可決
議案第72号	朝日町の職員の給与に関する条例等一部改正の件	原案可決
議案第73号	朝日町税条例等一部改正の件	原案可決
議案第74号	朝日町国民健康保険税条例一部改正の件	原案可決
議案第75号	朝日町営墓地条例一部改正の件	原案可決
議案第76号	朝日町看護学生修学資金貸与条例一部改正の件	原案可決
議案第77号	地方自治法第179条による専決処分 の件 専決第10号 平成28年度朝日町一般会計補正予算（第6号）	原案承認
議案第78号	地方自治法第179条による専決処分 の件 専決第11号 平成28年度朝日町一般会計補正予算（第7号）	原案承認
議案第79号	町道路線の認定及び変更の件	原案可決
議案第80号	朝日町固定資産評価審査委員会の委員を選任するため同意を 求める件	原案同意

### 議会を傍聴してみませんか！

定例会は3月、6月、9月、12月に開催されます。日程については、議会事務局にお問い合わせください。ホームページでもご覧になれます。<http://www.town.asahi.toyama.jp/>

## ふるさと教育推進事業 の朝日岳登山への支援 は今後も続くのか



水野仁士 (志政会)

### 答 引き続き支援を実施する

**質問** 朝日中学校2年生の朝日岳登山が行われ、ふるさと教育推進事業として予算づけされたが、今後も続く恒久的な予算と考えるよいか。

登山装備等の金銭的支援はされているのか。

また、登山中の事故等に対しての父兄へのケアはされているのか。生徒たちから登山についての感想など情報収集はしたか。

入善町の中学生にも朝日岳登山をされるよう働きかけては。

**答弁 教育長** 郷土の自然に触れることや自らの弱い心に打ち勝つ克己心を養成し、助け合いの心を育み、人間性豊かな生徒の育成とともに、ふるさとへの関心を高めることを目的に、本年度より朝日岳登山に対して、支援を実施しており、山の日の制定記念としての意味合いも含んでいる。

登山参加費用の一部補助として、生徒1人当たり3千円の補助、また登山に同行いただいている一般サポーター費用を全額補助するものであり、今後も引き続き支援を実施する。

登山装備等への金銭的支援は行っていないが、より安全な登山体制を築くため、支援のあり方については知恵を絞っていきたい。

山中の事故防止については、登山前に国立登山研修所の指導者を招いて生徒への事前研修や歩行等の実地訓練を実施し、登山での事故発生リスクの軽減を図るほか、生徒のレベルに応じた登山行動ができるよう、必要なサポーター数の確保にも努めており、朝日町遭難対策連絡協議会や入善警察署との連携も密に行っている。

登山後の生徒の作文を読んだり、町の自然の中で活動すること

を通して多くの感動を生徒それぞれに与え、豊かな心が育まれているということにこの行事の価値があると感じられ、子どもたちの将来に向けての成長を大いに期待したいと考えている。

ふるさとを改めて見つめる大変有意義な機会の中に町が誇る朝日岳がその一翼を担うことができれば、町にとって大変喜ばしいことであるので、関係課や関係機関とも連携し、朝日岳の魅力や登山のすばらしさについてPRに努めていきたい。

**再質問** 隣町への働きかけについて、後立山連峰は下新川、入善エリアの方々も毎日見ておられ、そういう中で子どもたちも何か感動するのではないかと思うが。

**再答弁 教育長** 商工観光課とタイアップしながら、山の自然がいかに教育効果が高いかということとを、PRしていきたい。

学校を離れての教育効果ということについては、他市町の自治体の教育委員会とも、機会があれば話を進めてみたい。

**再々質問** 登山装備に少しでも補助金を出しては。

**再々答弁 教育長** 補助のあり方については、保護者の負担の軽減はもちろん、安全面の確保につ

いて、どのような補助ができるのかということも併せて、この後、さらに考えていきたい。

### 必ず拾えるヒスイ探しの場所を設けては

**答** 自分だけの石との出会いを期待しながらヒスイを探すが、魅力であると考えている

**質問** 28年9月にヒスイが国の石に認定されたが、これを機にヒスイ海岸一帯に光を当て、町内外にもう一度PRすることができないか。

また、観光客あるいは民泊の生徒が必ず拾えるようなヒスイ探しの場所を設けては。



ヒスイ海岸



# 代表質問

答弁 町長

9月24日に開催さ

れた日本鉱物科学会の総会において、最も日本らしい石として、ヒスイが「日本の石」に認定され、ヒスイの原石が打ち上げられるヒスイ海岸が、町の貴重な観光資源として、これまで以上に注目が集まることを期待している。日本橋とやま館でのイベントを初め、県内外での出向宣伝においてヒスイ海岸のPRを継続して行うとともに、イベント開催への支援や魅力発信するポスター制作等を行い、新たなファンの獲得や町民が誇れるよう、この海岸のすばらしさの再認識につなげていきたい。

一方、ヒスイ海岸でヒスイの原石を見つけることは、気象条件等その時々めぐり合わせでもあるが、そう容易なことではない。

だからこそ4千年前よりヒスイが海岸に打ち上げられている歴史やロマンに思いをはせ、また自分だけの石との出会いを期待しながらヒスイを探すが何より楽しみであり、魅力であると考えている。

**再質問** PRの仕掛けを考えてほしいが。

**再答弁** 商工観光課長 パンフレットやポスター等々を作成していく。

## 「低山マップ」について

**答** マップを利用した登山会等を開催し情報発信していく

### 質問

「低山マップ」をつくったが、これをどのように広くPRするのか。

### 答弁

町長 山の日を記念し朝日町観光協会が発行した「低山マップ」については、山の魅力を町民にも知っていただきたいの思いで作成されたものである。

町観光協会としては、このマップを利用して比較的登りやすい低山の登山会を開催していく計画であり、町としても、町民の皆さんに身近な山の魅力に親しんでいただけるよう情報発信していきたい。

**再質問** 登った証明になるようなことをされ、この低山を大いに宣伝できないか。

**再答弁** 商工観光課長 どのようにしたらできるのか、一度考えてみたい。

## 浜山玉つくり遺跡発掘50周年の企画は

**答** 記念フォーラムの開催など現在検討中



加藤好進 (グループ22)

### 質問

浜山玉つくり遺跡は、昭和42年・43年に発掘調査が行われ、古墳時代の国内産のヒスイの原石と直結する加工地や技術を最初に明らかにした遺跡として高い評価を得ており、来年50周年を迎え朝日町の魅力を発信する上でも大変重要な文化財であるが、記念行事を企画されているのか。

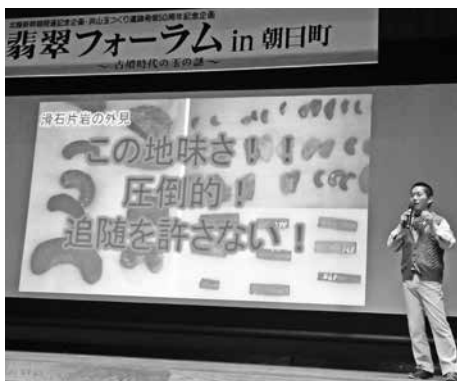
### 答弁

教育委員会事務局長

富

山県指定文化財である浜山玉つくり遺跡が、節目を迎えるに当たり、町では平成27年度から3カ年計画で、浜山玉つくり遺跡発掘50周年記念企画「翡翠フォーラムin朝日町」と題して、第1回の平成27年度は、「翡翠と縄文人」、第2回の今年度は、「古墳時代の玉の謎」をテーマに野外学習会やフォーラムを実施してきた。

平成29年度は「古代人の心性と玉文化」をテーマに、まだ素案ではあるが、野外活動においては朝日町の史跡を見学し、古代越中国の成立史を考える学習会の開催、特別講演の一例としては、講師を招いて「古代に寄せる想い」や有名ゲストなどを迎える「ヒスイの美と文化」などの特別対談、ま



第2回翡翠フォーラムin朝日町

たフォーラムでは万葉集や古事記などから探る玉の文化について紹介するなど、50周年を飾るにふさわしい記念フォーラムの内容を検討しているところである。

**再質問** 特別対談とはどのような企画か。

**再答弁** 教育委員会事務局長 まだ、素案段階だが、例えば町長とゲストを交えてのディスカッションといったようなもの。

また、考古学に専門的な知識を持っておられる方に、パネラーとして入っていただきながらの特別対談を考えている。

**再々質問** 浜山玉づくり遺跡の駐車場の確保及び道路整備の考えは。



浜山玉づくり遺跡

**再々答弁** 教育委員会事務局長 現在は山のみち林道の際にとめていただいているが、周辺の土地等も含め、準備できればと思うので、少し現地を精査しながら検討していく。

散策道の整備、例えば階段をつけたり、ロープをつけたりといったことを順次整備していきたい。

## 仮称「町再生室」設置について

**答** しっかりと検討していく

**質問** 第5次総合計画の成果指標と目標の達成については、強力かつ短期的に成果を得るためには組織体制の整備が必要であり、仮称「町再生室」の設置と民間人登用による専門委員の配置を提言しますが見解を伺う。

**答弁** 総務政策課長 朝日町再生会議については、平成29年度も継続していく考えであり、新年度において新たな再生会議の委員を募集する予定で、現在の委員のうち何名かの方にはアドバイザーとして参画をお願いしたいと考えている。

ご提案の仮称「町再生室」の設置といった組織体制の整備について



草野地内工業団地造成工事現場

ては、状況に応じて機動的に行っていくべきものであり、しっかりと検討していく考えである。

また、民間人登用についても、今後検討していく必要があるものと考えている。

**ビジネスホテルを建設する考えは**

**答** 民間等による建設の話があれば町として支援する

**質問** 今後、当町で事業展開をされる再生医療事業の株式会社アムノス、飲料事業のポエック株式

会社や既存企業における設備投資、メンテナンス、商談等で多くの関係者が来町するとなると、宿泊先が必要となる。

当町にはビジネスホテルがなく、近隣のビジネスホテルを利用されており、当町にはお金が落ちていないのが現状である。

民間活力を活用したビジネスホテルを建設することで、雇用の創出や地域経済効果が生まれ、地域で消費してもらって循環型社会を築くことで地域の活性化に結びつくと考えているが。

**答弁** 町長 ビジネスホテルの建設については、新たな企業の進出や新工場の増設など、朝日町における企業活動の活性化に伴い多くの関係者が朝日町に来ており、現に企業からは宿泊先を求める声が上がっていることも事実である。

宿泊先の確保のみならず、雇用の創出や地域経済の活性化の面においても、民間等によるビジネスホテルの建設は望ましい形であり、そういった話があれば、町として積極的に支援していきたい。

# 代表質問

## 町内の高齢者及び後期高齢者の人数は

**答** 65歳以上が5,129人で75歳以上が2,768人



道用 昭雄 (一步会)

**質問** 町内の高齢者及び後期高齢者の人数は。また、ひとり暮らし、2人暮らしの世帯数は。

これらの方々への日常の対応と緊急時の対応は。

介護人は、負担が非常に大きくなってきているが、これに対して町はどのような対策をとっているのか。

**答** 健康課長 65歳以上の高齢者数は28年11月1日現在の住民基本台帳によると5,129人で高齢化率は40・87%、75歳以上の後期高齢者は2,768人で、人口に占める割合は22・06%となっている。

そのうち、在宅福祉サービスが必要とするひとり暮らし高齢者や高齢者のみ世帯は、65歳以上のひとり暮らし高齢者400人、75歳

以上の高齢者のみ世帯が73世帯となっている。

ひとり暮らしや高齢者のみの世帯には、希望により、緊急通報装置の貸し出しや、緊急時に速やかに対応できる緊急連絡カードを配布して、万一の場合に備えている。

介護する側の健康管理に関しては、デイサービスやショートステイなど介護サービスを上手に活用していただき、介護者個人にかかる身体的・精神的負担を軽くすることが重要である。

介護は一人で抱え込まず、介護がたつらなくなった場合は、遠慮なく地域包括支援センターなどの関係機関にご相談いただきたい。

**再質問** 住民基本台帳と実態とは差があるのか。

**再答** 健康課長 民生委員の

方に地域の実情を見ていただいで、支援が必要だと思われるひとり暮らし高齢者と高齢者のみ世帯の数を答えた。

住民基本台帳で調べた65歳以上のひとり暮らし高齢者は867人、75歳以上の高齢者のみ世帯は243世帯であった。これはあくまでも住民基本台帳上の人数である。

**再々質問** 何かあった場合に緊急通報装置のボタンが、救急車につながるような状態にならないか。

また、高齢者が住みやすい町として、どういうふうに見えるか。

**再々答** 健康課長 いろいろな関係機関にいわゆる見守りということをお願いをしている。先ほど紹介した緊急通報装置の貸し出しについて、今年度からはシステムの内容を若干変え、人感センサーつきの装置に順次変えることをしている。

**再々答** 町長 子どもを生み育てやすい環境と高齢者が元気で生活する環境づくりということ、2本の柱であり、当然高齢者福祉の充実、健康で生活する環境づくりに取り組みなければならぬという覚悟でいる。

## 外来患者数と入院患者数の変化は

**答** 過去5年間で最も多かったのが平成24年度

**質問** 外来患者数と入院患者数の変化は。

現在の病院の企業債の残高はいくらか。その中で病院を建てたときの分は現在いくらか。その償還にはどれくらいかかるのか。

寄附講座について、現在の状況をどのように評価され、その後どのように考えられるのか。

病院の健全運営のために、事前に1億4,400万円を5カ年間で終了する。29年度より独立採算に移らなければならないが、赤字はいくらぐらいになるか。病院の運営形態も含め尋ねる。

**答** あさひ総合病院事務部長 外来患者数と入院患者数が過去5年間で最も多かったのは、いずれも平成24年度。患者数は常勤医師の人数に大きく影響を受け、常勤医師が13名だった平成24年度が最も多くなっている。

企業債元金残高は約50億円で、そのうち新病院建設時のものが、約48億円で、建物本体は平成46年



度までの償還となっている。

寄附講座は平成28年1月から平成30年3月末まで開設し、外科系の医師2名と内科医師1名の合わせて3名の医師が客員教授や客員助教として当院での診療を行っている。

常勤医師が入院患者の治療に今まで以上に専念できるという効果があり、医師の質の向上に寄与している。

平成29年度からは、これまでの繰入金金の1億4,400万円と前倒し分の4千万円を合わせた1億8,400万円がなくなることから、平成29年度以降は企業債の償還に対する新たな補てんが必要であり、現在当局と補てん方法や金額について協議している。

**再質問** 補てんをしていくことについてまだ話はでないのか。

**再答弁** 総務政策課長 9月議会が終わった頃から事前に相談があり、今までも協議してきている。そろそろ詰め段階に入っている。

## 泊高校未来創生会議の内容は

**答** 短期的目標「存続」、中長期的目標「特色化・魅力化」を掲げ運動を展開する

## 質問

泊高校未来創生会議はどのような内容で、どのような行動に出るのか。

県総合教育会議のその後の動向については。

## 答弁 町長

地域団体関係者、保護者団体、経済界関係者、教育関係者の16名と学識経験者3名の19名で構成され、短期的目標として「存続」、中長期的目標として「特色化・魅力化」を掲げ、運動を展開することの検討がされた。

県総合教育会議は、9月28日第3回会議が開かれ、4名の有識者が意見を述べられ、教育の質向上と財政の観点から統廃合は不可欠であるという意見があった一方で、公平性も大事であり、歴史の浅い大規模校を再編する議論があってもよいのではという意見もあった。

12月2日の富山県自治会連合会の要望活動の中で、地域間バランスや実情、学校の特色を考慮し、現有高等学校の存続を基本とし、慎重に検討していただくよう強く要望しますとの要望が行われ、県全体に共通確認されたことは、非常に大きな成果であった。

12月5日の県議会一般質問で知事は、市町村長の意見を聞き、議論の展開に応じて適切に対処する

と述べられた。

また、今後の動きとしては、1月に開催される第2回市町村長会議においても、一つの市町に最低1校の県立高校を配置することにについて再度発言することとしている。

## 本文に掲載した記事以外の質問

### ◆水野仁士 議員

- 安全な町づくりについて
- 登下校の安全について
- 湯ノ瀬北又環境整備について
- 観光振興について
- 空き家の利活用について
- 加藤好進 議員
- 地域づくりについて
- ふるさと納税の活用方法について

- 産業振興について
- 宮崎漁港環境整備と漁業者の育成について
- 観光振興について
- 体験型修学旅行の展開について
- トレイルランニングについて
- 安全・安心な暮らしについて
- 有害鳥獣対策の促進について
- 道用昭雄 議員
- あさひ総合病院の現状と今後について
- 町としての病院の維持の方向性と具体的な支援のあり方について
- 長崎智子 議員
- 平成29年度予算編成について
- 財政の健全化について
- バタバタ茶、蛭谷和紙ブランド化事業委託について
- 会社の倒産に伴う町の対応について
- 会社の倒産に伴う町の対応について
- 町の公共施設のあり方について
- 下沢産業跡地の整備について

### ◆大森憲平 議員

- あさひ総合病院について
- 院内保育について
- 医療・福祉従事者用アパートの利用状況について
- 朝日町再生会議の提言書について
- 提言書の受け止め方について
- 取り入れの順番について
- 第5次朝日町総合計画との関連について
- 特定健診及びがん検診の状況について
- ガンの発見状況について
- ◆清水真人 議員
- 有害鳥獣対策実施状況について
- 有害鳥獣対策協力金について
- 不登校児童の対応について
- 不登校児童の対応について
- ◆大井光男 議員
- 町の公共施設について
- ふるさと美術館の現状と今後について
- 地方創生推進交付金事業について
- 今年度の「あさひ担い手ネットワーク」の活動と今後の計画について
- 「あさひ農林水学舎」の今後の計画について
- 婚活支援について
- 昨年度の実施状況と今後の取り組みについて
- ◆荒尾勇一 議員
- 子育て支援の充実について
- 就学援助金の受給者数や支援金額の推移について
- 就学援助金の支給時期について
- 学校でのいじめに対する対策について
- 「カウンセリング講座」の受講について
- 小・中学校の「人権教育」について
- 住民要望について
- スズメバチの巣の除去処分にかかる費用の補助について
- 老朽化した農業用水について



# 一般質問

## 武道館・雨天練習場の 今後の計画は

**答** 完成・開館は平成30年秋を  
見込んでいます



長崎 智子

**質問** 武道館及び雨天練習場をサンリーナグラウンドまたはゲートボール場に新設するが、今後の計画については。

**答** 教育委員会事務局長 基

本設計方針（案）として、武道館はサンリーナ第2体育室南側の駐車場内に2階建て、柔道2面、剣道2面を有する施設とする方向で検討しており、屋内グラウンドは、野球、サッカー、陸上、ゲートボールなどの各種スポーツの練習等に必要な面積を算定し、現在、施設の規模を検討している。完成・開館については、武道館、屋内グラウンドともに、平成30年秋を見込んでいます。

**再質問** 平成29年度のゲートボール場の利用はどうなるのか。

**再答** 教育委員会事務局長 29

### 質問

泊駅南土地区画整理事業

**答** 泊駅南土地区画整理事業の地元からの意見及び要望は、組合設立に向けての必要な費用に対する無償貸与の要望を受けている。

**再々質問** 使えないのであれば、ゲートボール協会に説明する義務があると思うが。

**再々答** 教育委員会事務局長 正式決定ということになれば、当然ゲートボール協会の皆さんとも場所の調整を行うことになる。まずは場所の決定が先決ということでご理解いただきたい。

の認可に向けて調査費を計上したが、その後、地元からの意見及び要望はあったか。

また、国、県、町の補助金のほか保留地処分土地売買や都市計画道路完成後の計画等について伺う。

**答** 建設課長 現在準備委員会では、組合事務所的位置、規模などを検討されており、組合設立に向けての必要な費用に対する無償貸与の要望を受けているところである。過去に整備した例にならうて進めていく。

都市計画決定がなされれば、町が国、県と事前協議を行った上で、土地区画整理設立準備委員会において組合設立に向けた地権者説明会を開催し、本同意書を収集された上で、土地区画整理事業認可申請を国へ行うことになり、認可を受けた段階で設立総会が開催される。

### パークゴルフ場の排水改善 備の進捗状況について

**答** 今回排水対策を施工した箇所とは違う箇所に排水不良が発生した

**質問** 平成28年度に排水の改善整備のための予算計上がされた

が、その後の進捗状況は。



あさひヒスイ海岸パークゴルフ場

**答** 教育委員会事務局長 6  
月にひすい・まがたまコース内において暗渠排水管12カ所、集水ます14個の排水対策工事を実施した。今回施工した箇所とは違う箇所に排水不良が発生し、原因として考えられることは、コースの増設後、年月があまり経過していないことから、芝生下の土が安定していないこと、多くの利用者がコース内を歩き回られるためにさらに軟弱状態になることや排水経路が変わったりすることが考えられる。引き続き排水対策工事を実施し、改善に向けた必要な措置を図っていく。

## 朝日町看護学生修学資金 貸与条例一部改正について



大森 憲平

**答** これまで以上に修学資金の利用を促進し、  
看護職員を確保するための改正

**質問** 朝日町看護学生修学資金

貸与条例一部改正が提案され、修学資金の貸与月額を5万円から10万円に増額、返還の免除期間を5年間から3年間に短縮するとのことであるが、この金額及び期間の根拠は。

この改正で看護師の確保ができるのか。

**再答** また、県内の各病院での状況は、

将来あさひ総合病院において看護師として業務に従事しようとす看護学生に対し、修学資金を貸与することにより修学を容易にし、当病院の看護職員を確保する目的で平成23年4月から施行し、平成27年4月からは貸与対象者の住所要件を撤廃して利用拡大を図ってきたが、当病院での勤務に

至った貸与者は1名にとどまっている。

貸与額の根拠は、県内の主な看護師養成機関の年間授業料や実習費等の合計金額を参考に算出した。

県内の他病院の状況については、同様の制度がある5市町の中



あさひ総合病院の看護師の勤務の様子

でも南砺市や射水市の貸与月額5万円が最高額であり、今回の月額10万円は、県内においては最も高額になる。

**再質問** 県外から看護学生を呼ぶことはできないか。

**再答** あさひ総合病院事務部長  
通知は、県内に限らず、県外にも、看護学校回りをして配布する。中部地区の看護学校にも配布する予定である。

### 各検診の受診状況は

**答** 特定健診の平成27年度の  
受診率は55・9%

**質問** 特定健診やがん検診の受診状況は。

各検診の受診率アップの取り組み状況は。

**再答** 健康課長 特定健診の制度が開始された平成20年度は受診率43・1%で、年々増加し、平成27年度は55・9%と、国・県平均より高い状況となっている。

一方、年代別では若い年代ほど受診率が低く、性別では女性より男性の受診率が低い傾向にある。受診率向上のため、対象者への受診券の個別通知のほか、広報あさひ等を活用した受診の周知を

行っており、平成25年度からは特定健診の個人負担金を無料とし、65歳以上の方については、医療機関に受診中の方が多いことに鑑み、集団健診と医療機関健診の選択抑制とし、未受診者に対しては、再度個別通知を実施するとともに、集団健診の夜間健診も実施している。

がん検診の受診率については、平成27年度で肺がん52・8%、胃がん19・5%、大腸がん20・1%、子宮がん29・7%、乳がん32・4%、前立腺がん17・8%となっており、特定健診と同様の周知のほか、ヘルスポランティア協議会と連携した受診啓発等を行っている。

健診は、自分自身の健康状態を知る上で欠かせないものであり、健康づくりのスタートとして積極的な受診につながるよう、今後とも健診受診率向上対策に取り組んでいく。

**再質問** もう少し何か対策はないのか。

**再答** 健康課長 今まで特定健診の受診日と、がん検診の受診日は別々にとっていたが、今度はそのうちの1日が2日でも一緒に受診できるような、「総合健診」としてやってみるなど、いろいろな模索はしているところである。

## 今年度の有害鳥獣の捕獲実績は

**答** 12月5日現在、熊31頭、イノシシ240頭、猿47頭



清水 眞人

**質問** 今年度の有害鳥獣、熊、イノシシ、鹿、カラス、猿の捕獲実績及び近年と比較して、どう推移したか。

処理方法についてどのように検討し、支援しようとしているのか。また、耐雪型侵入防止柵の予想される見積もり総額と検討されている地元負担については。

全町設置は何年程度の計画か。

**答** 農林水産課長 今年度12月5日現在での捕獲頭数は、熊31頭、イノシシ240頭、猿47頭、ニホンジカ2頭、カラス4羽となっている。中でもイノシシの捕獲頭数は前年の108頭から2倍以上に増加しており、カラス以外の捕獲数は全体的に増加傾向にある。

これら有害鳥獣の処分については埋設による処理を指導しているが、イノシシ等は自家消費も可能

としている。

耐雪型侵入防止柵は、今年度南保高島地内でモデル事業として設置したが、それを参考にするのと、資材提供を町が行い地元で設置していただく場合、事業費は約1億1,800万円となる。また、全ての資材と設置工事を含めた場合の事業費は約3億6,800万円と試算している。

いずれにせよ、耐用年数やメンテナンスを考慮して複数年に分けて整備することが必要であると考えており、県の補助事業や国の交付金などの財源を含めて、具体的な整備方法について検討していく。

**再質問**

耐雪型侵入防止柵を設置したからといって、維持管理の作業がなくなるわけではない。どの地域も、人口減少が激しく、高齢者ばかりになっていることを念

頭に置いて、早急に進めてほしいが。

**再答** 町長 町全体、県全体の大きな問題で、15市町村、口をそろえて県が主導ということでお願している。

### 町営墓地の管理状況について

**答** 管理料について滞納に至る事案は生じていない

**質問** 町営墓地は、平成3年、高島墓地を皮切りに、東草野、沼保、宮崎墓地と197区画を造成し、既に195区画の所有者が確定し、今回の浜草野墓地の造成に至ったが、現在の管理状況は。

無縁墓地になった時の処置は、現状では全て町の負担になると危惧されるが、どうなるのか。また、どうしようと考えているのか。

**答** 住民・子ども課長 墓地の管理料については、墓地の共用部分の清掃・維持管理に要する費用として、墓地使用者に年額千円、5年間で5千円を一括納付いただいている。

今年度、平成28年度が5年に一度の一括納付の年であるが、滞納に至る事案は生じていない。

無縁墓地の取り扱いについては、基本的には遺骨は町が保有す

る無縁墳墓に改葬し、墳墓は別の場所に移転する。

この移転費用は30万円程度かかると聞いているが、墓地の使用許可の際に納付された永代使用料をあてることとなる。

使用者の状況確認を適時・適切に行い、墓地の承継者が未定である使用者がある場合には、以後の対応について相談をしていく。

**再質問** これから多数発生してくるであろう無縁墓地の対策を今とっておく必要があるのでは。今後この条例改正などの必要性は。

**再答** 住民・子ども課長 今後そのようなことが想定されてくるであろうということは十分に認識している。適時・適切に使用者の状況を把握してまいりたい。条例については、状況を把握しながら今後検討課題としていく。



町営浜草野墓地



## 公共施設の適正な維持 管理と生涯費用について



大井 光 男

### 答 公共施設等の総合的かつ計画的な 管理の推進について策定をしている

**質問** 最近では大型の公共施設を毎年建設し、今後も計画されているが、今後かかるであろう修繕内容や必要経費について把握しているのか。

また維持管理や施設にかかる生涯費用の削減等を図る具体的な取り組みは行っているか。

**答** 財務課長 国では、全体の状況を把握し、長期的な視点を持って更新、統廃合、長寿命化などを計画的に行うことにより、財政負担の軽減、平準化と公共施設等の適切な配置を実現するため、公共施設等総合管理計画の策定を各自治体に要請しており、町は平成27年度から2カ年をかけ、今年度末の策定を目標に取り組んでいる。

**再質問** 適正な維持管理ということ、運営費、維持費、修繕費

をどのように考えているか。

**再答** 財務課長 今までは原課で個別に管理してきたが、国の方で総合的に全体を把握してやるようにということで、計画の策定を進めている。

**再々質問** 少子高齢化で子どもたちが少なくなっており、将来に負担がかからないように計画を立ててほしい。

建設費用は出すが、後は考えていない。修繕のときは、施設が傷めば修繕するという予算では困る。全体的な、5年、10年のサイクルの中で考え、建築物は建てれば必ず寿命がくるので、構造についての長寿命化という具体策も必要であり、財政に見合わないものをつくっては、後で必ず負担が来る。計画についていづころ試算があるのか。

がるのか。

**再々答** 財務課長 年度末には策定したいので、その頃には数字がでる。

### 計画されている武道館の建築規模は

**答** 2階建て、柔道2面、剣道2面を有する施設

**質問** 平成24年度から中学生の保健体育の授業で武道必修となったが、武道をするための安全性の面での広さは、どのくらいの面積が必要か。

また、計画されている武道館の建築規模は。

**答** 教育委員会事務局長 生徒の安全性を最優先として、柔道の授業における畳の必要枚数は、一人当たり5枚から6枚が望ましいということで、1クラス40人授業とすると、最低でも200畳以上必要となるので、柔道の面積2面を確保しなければならない。

武道館は、サンリーナ第2体育室南側の駐車場内に、2階建て、柔道2面、剣道2面を有する施設にする方向で検討している。



サンリーナ格技室

**再質問** 保健体育の武道の授業は1年間やっている訳ではないと思うが。

**再答** 教育委員会事務局長 冬の間約10時間の授業で1月中旬ぐらいまでの中で全学年男女とも行っている。

**再々質問** 必修の授業は11月から3カ月程度だが、授業で使わない時はどう考えるか。

**再々答** 教育委員会事務局長 何も柔道場が保健体育の授業だけというのではなく、日常的には、まず部活動で毎日のように使う状況であり、当然中学生だけでなく、一般の方々にもたくさん利用者がある。

## 厚生労働省の見直し案について町長の考えは

### 答 全国町村会と歩調を合わせたい



荒尾 勇二

**質問** 多くの地方自治体では子どもの医療費軽減を実施しているが、子どもの医療費を自治体独自で実施すると、それに対し、国民健康保険の国庫負担分を減額する、ペナルティーがある。

国は国民の声におされてペナルティーを見直す方向へと動いているが、とても国民の願いに応じたものではない。

厚生労働省の見直し案は、多くの国民の願いに背を向け、地方自治体の努力にも反するものではないか。

ペナルティー制度は、少子化や子どもの貧困の解消に対する自治体の努力に逆行するものと思うが、高校生までの医療費無料化を実現した町長としてどのように考えるか。

答弁 住民・子ども課長

厚生

労働省は11月30日の社会保障審議会医療保険部会において、地方自治体が独自に実施する子どもの医療費助成事業に係る国民健康保険の国庫負担減額調整措置の見直し案を示し、平成30年度からの実施に向け、今後協議される。

内容としては、対象年齢を未就学児までとした上で、一つは、国庫負担減額調整措置を無条件に廃止する。医療費助成に一部負担金や所得制限など何らかの制限措置を設けている場合に国庫負担減額調整措置を廃止するという2つの案が提示された。

全国知事会、全国市長会、全国町村会とともに、「社会保障の充実及び一億総活躍に向けた財源確保に関する緊急要請」を行い、その中に、子ども医療費助成に係る国民健康保険の国庫負担減額調整

措置を直ちに廃止することが盛り込まれている。

町としては、全国町村会と歩調を合わせていく。

**再質問** 子ども医療費無料化を高校生までやったことについて、これからも続ける決意か。

**再答弁 町長** 恒久的に構えていかないと、短期的なことではだめであると思っている。知事を初め県の部長クラスもそこまでやるのかという感じだったが、町独自のオリジナルな施策として、今後も続けていく。

### 小・中学校のいじめ予防の体制は

**答** 人間として生きる充実感を味わうことのできる学校づくりによって心の安心を図る

**質問** 福島原子力発電所の事故のため横浜市に自主避難した生徒が小学校でいじめを受けたという報道があった。

両親が、学校と市教育委員会に報告し対処を求めているにもかかわらず、学校も市教育委員会も重大事態とは捉えず、教育機関や教育関係者の責任が厳しく問われなければならぬ。

小・中学校では、いじめ予防や実際にいじめがあった場合を想定

し、どんな体制で臨んでいるか。

**答弁 教育長** いじめ予防には学校教育の全体を通して行われている道徳教育や人権教育、授業では達成感の得られるわかる授業の展開、生徒活動や部活動での充実感を伴う自主的な活動の促進などが重要になってくる。

また、学校内での円満な人間関係や児童・生徒と教員との信頼関係の構築など、人間として生きる充実感を味わうことのできる学校づくりによって心の安心を図っていくことが、いじめの発生を限りなくゼロに近づけることにつながる。いじめが起きた場合の指導については、早期発見、早期指導が最も大切である。

早期発見には、児童・生徒に対する教師の観察力や感性、いじめ調査や悩み調査、日記指導から感じることなど、情報を先生方で共有するということが極めて重要である。

各学校では、職員室での子どもを中心にした会話を行う、あるいは、木曜日の放課後に必ず先生方が集まって子どもの情報交換をするという時間を設定している学校もあると聞いている。

# 常任委員長報告

## 常任委員長報告

### 総務産業委員会

当委員会は、12月14日及び16日の両日、午前10時から開催し、議  
会から付託されました、

- 議案第67号 平成28年度朝日町  
一般会計補正予算(第8号)
- 議案第70号 平成28年度朝日町  
簡易水道特別会計補正予算(第  
2号)
- 議案第71号 平成28年度朝日町  
下水道特別会計補正予算(第1  
号)
- 議案第72号 朝日町の職員の給  
与に関する条例等一部改正の  
件
- 議案第73号 朝日町税条例等一  
部改正の件
- 議案第74号 朝日町国民健康保  
険条例一部改正の件
- 議案第77号 地方自治法第  
179条による専決処分  
の件
- 議案第10号 平成28年度朝日町  
一般会計補正予算(第6号)
- 議案第78号 地方自治法第

179条による専決処分の件  
専決第11号 平成28年度朝日町  
一般会計補正予算(第7号)

以上、8議案を慎重審査いたし  
ました結果、それぞれ原案のお  
り可決、承認すべきものと決しま  
した。

なお、議案審査の過程におい  
て、次の要望、意見がありまし  
た。

・用水の多面的機能に鑑み、小川  
頭首工からの農閑期における取  
水量について、下流域の生活環  
境等に必要な水量の確保に努め  
られたい。



### 民生教育委員会

当委員会は、12月15日及び16日  
の両日、午前10時から開催し、議  
会から付託されました、

- 議案第67号 平成28年  
度朝日町一般会計補正  
予算(第8号)
  - 議案第68号 平成28年  
度朝日町国民健康保険  
特別会計補正予算(第3  
号)
  - 議案第69号 平成28年  
度朝日町後期高齢者医  
療事業特別会計補正予  
算(第1号)
  - 議案第75号 朝日町営  
墓地条例一部改正の件
  - 議案第76号 朝日町看  
護学生修学資金貸与条  
例一部改正の件
- 以上、5議案を慎重審  
査いたしました結果、そ  
れぞれ原案のとおり可決

すべきものと決しました。  
なお、議案審査の過程におい  
て、次の要望、意見がありました。  
・スクールカウンセラーの重要性  
が増してきており、配置等につ  
いて、引き続き、県へ強く要請  
されたい。





12月16日、全員協議会終了後に株式会社渡辺功機の新工場の現地視察を行いました。

同社は、分散していた工場を集約化し、生産効率の向上を目指して新工場を建設しました。

新工場建設用地は、町が地元企業を支援する目的で、工場拡張に必要な用地を買収し、造成工事を実施したうえで、会社に売り渡したものです。

現地では、工場内を見学した後、会社概要の説明を受けました。

株式会社渡辺功機の皆様には、お忙しい中、工場見学をさせていただきありがとうございます。



会社概要の説明（株式会社渡辺功機）

## ○ 議会改革検討委員会

開かれた議会への取り組みとして、議会改革が必要となっており、10月27日に議会改革検討委員会を設置し、11月28日に第1回議会改革検討委員会を開催しました。

協議事項として、政務活動費の公表のあり方、用途の範囲及び運用の見直し等について検討を始めました。

### 政務活動費

政務活動費については、年1回議会だよりで収支報告の概要を公表していましたが、今後は、インターネットでも収支報告書の内容及び領収証を公表していくこととして、運用の見直しを含めて検討していくことにしました。

また、政務活動費の後払い制の導入については、見送ることとしました。

### 弔電

町議会では、平成24年に弔電の自粛の申し合わせをしましたが、徹底されていないこともあり、今回、あらためて、平成29年2月1日以降、議員個人の弔電をすべて自粛することを決めました。

町民の皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

# 議会日誌

## 十月

- 19日 議会だより編集委員会  
自治振興会連絡協議会と議  
会との懇談会
- 25日 町村議会広報研修会(東京)
- 27日 全員協議会
- 28日 新川広域圏関係市町議会議  
員研修会(入善町)

## 十一月

- 1日 町村議会議長協議会  
(富山市)
- 4日 議会運営委員会  
糸魚川市・朝日町議会議員  
連絡協議会(糸魚川市)
- 6日 関西朝日会総会(大阪)
- 9日 町村議会議長全国大会・豪  
雪地帯町村議会議長全国  
大会(東京)
- 14日 下新川海岸整備事業促進議  
員連盟中央要望(東京)
- 28日 黒部川治水同盟会要望  
(東京、新潟)
- 30日 議会改革検討委員会  
議会運営委員会

## 十二月

- 5日 第6回議会定例会本会議  
(提案理由説明・細部説  
明・質疑)
- 7日 議会運営委員会
- 12日 本会議(代表・一般質問)
- 13日 本会議(一般質問)
- 14日 総務産業常任委員会
- 15日 民生教育常任委員会
- 16日 総務産業常任委員会  
民生教育常任委員会  
全員協議会
- 20日 現地視察  
議会運営委員会  
本会議(委員長報告・討  
論・採決)



糸魚川市・朝日町議会議員連絡協議会  
(11/4 糸魚川市)



関西朝日会総会(11/6 大阪)

項目	H28. 10. 1～12. 31		H28年度累計	
	件数	支出金額(円)	件数	支出金額(円)
祝儀・寸志・御酒	7	119,600	22	319,200
香典・生花・見舞	3	30,000	8	65,000
土産・贈答	0	0	0	0
負担金・会費	7	79,000	19	241,000
懇談会	0	0	0	0
銭別・激励・協賛金	1	5,000	3	15,000
その他	0	0	0	0
合計	18	233,600	52	640,200

議長交際費を公開します

## 編集 後記



平成28年第6回朝日町議会12月定例会は上程された全案件が可決・承認・同意され、16日間の会期を終了しました。

12月22日、糸魚川市中部で発生した火災は、約30時間後に鎮火したものの、約150棟が焼失する大火災となりました。被災されました方々に心からお見舞い申し上げますとともに、早期の復旧・復興を願うものであります。

12月25日に、町長とともに糸魚川市を訪れお見舞いを申し上げ、朝日町としても全面的な協力をする旨をお伝えしたところですが、朝日町も市街地はもとより、木造家屋の住宅密集地域があり、今回の大火を人ごととせず、防火対策の一層の注意喚起と強化に努めたいものです。

また、問題となっております政務活動費は、議会改革検討委員会において議論をしているところであり、町民の信頼を裏切らないよう襟を正していく所存です。今後とも議会に対しておご理解とご協力を賜りますようお願いいたします。  
(西岡)

### ◇議会だより編集委員

- 水野 仁士 西岡 良則
- 加藤 好進 大井 光男
- 荒尾 勇二